

舞台をみる。
話を聞く。
劇評を書く。
語り合う。

▼第1回 9月27日(月)19:00~21:30

トークセッション

「私の考える劇評/ダンス評」

徳永京子、桜井圭介、小澤英実

司会/水牛健太郎・北嶋孝

▼第2回 10月2日(土)14:00~16:30

「劇場・劇団・劇評を語る」

講師 平田オリザ

▼第3回 10月16日(土)14:00~16:30

青年団『砂と兵隊』(9/16~10/6)合評

講師 徳永京子

▼第4回 10月30日(土)14:00~16:30

KENTARO!!『僕はまた一人 未完成の音楽で歌う』(10/14~24)合評

講師 桜井圭介

▼第5回 11月13日(土)14:00~16:30

龍昇企画『モグラ町1丁目7番地』(仮)
(10/27~11/3)合評

講師 徳永京子

▼第6回 12月4日(土)14:00~16:30

乞局『果実の門』(11/12~23)合評

講師 小澤英実

●講師紹介



平田オリザ(ひらた・おりざ)

1962年、東京生まれ。劇作家、演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。国際基督教大学(ICU)在学中の1983年「青年団」旗揚げ。95年に「東京ノート」で岸田國士戯曲賞を受賞。「現代口語演劇」によって演劇理論と演出方法に大きな影響を与え、こまばアゴラ劇場を拠点に劇場システムの変革にも取り組む。ワークショップ方法論が教科書に採用されるなど、演劇教育にも取り組んでいる。主な著書は『現代口語演劇のために』『都市に祝祭はいらない』『芸術立国論』など。2009年10月、内閣官房参与。



徳永京子(とくなが・きょうこ)

1962年、東京都生まれ。演劇ジャーナリスト。小劇場から大劇場まで幅広く足を運び、朝日新聞劇評のほか、『シアターガイド』『花椿』『Choice!』などの雑誌、公演パンフレットを中心に原稿を執筆。東京芸術劇場運営委員および企画選考委員。



桜井圭介(さくらい・けいすけ)

1960年生まれ。音楽家・ダンス批評。「吾妻橋ダンスクロッシング」オーガナイザー。ソロアルバムに『IS IT JAPAN』『HINEMI』。遊園地再生事業団(宮沢章夫主宰)の殆どの舞台で作曲を担当。著書に『西麻布ダンス教室』『ダンシングオールナイト』など。



小澤英実(おざわ・えいみ)

東京学芸大専任講師。アメリカ文化研究者。雑誌『舞台芸術(第二期)』などで演劇批評を行うほか、イヴ・エンスラー「ヴァギナ・モノローグス」、国際共同制作戯曲「雌鹿」(演出:羊屋白玉)など上演戯曲の翻訳やドラマトゥルクとしても幅広く活動している。

▽ワンダーランドとは

(<http://www.wonderlands.jp/>)

小劇場レビューマガジンとして2004年創刊。これまでの寄稿者は約100人、掲載記事は1000本を超える。webサイトとメールマガジン版で発行。平田オリザ、関美能留、岡田利規、前田司郎らのロングインタビューも話題を呼んでいる。

▽劇評を書くセミナーとは

演劇、ダンスを考えるための劇評実践講座。公演を見る、作・演出、振付家らの現場の声を聞く、劇評を書く、相互批評する-のワンダーランド方式で2008年から開講。遊園地再生事業団『ニュータウン入口』(宮沢章夫作・演出)、『瀕死の王』(イヨネスコ作、佐藤信演出)、燐光群『ハシムラ東郷』(坂手洋二作・演出)などを取り上げてきた。セミナーから寄稿者が次々に生まれている。